

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸美容学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|--|----------|-----------------|----------------------|---------------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 鍼灸臨床実技 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 実習室 |
| 担 当 教 員 | 田村 悠 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| これまでに学習した鍼灸治療の知識を実技で経験することにより、実際の治療現場における対応力を習得する | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 期末試験 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 配布資料、及び課題としての記載済カルテ | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 本講は鍼灸治療学 I に対応した実技科目である。出題されたカルテを記入し、実技に臨むこと | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| カルテはその患者の傷病内容や治療方針が記載してあり、他の職員との情報共有や傷病の経過を記録するものであるため非常に重要度が高い。実際の現場では必ず作成するものなので、気を入れて練習をしてもらいたい | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 1 回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭痛についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学 I の該当範囲を復習しておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭痛の治療について学習する | | | |
| 第 2 回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭痛についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学 I の該当範囲を復習しておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭痛の治療について学習する | | | |
| 第 3 回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩凝りについての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学 I の該当範囲を復習しておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肩凝りの治療について学習する | | | |
| 第 4 回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 変形性頸椎症の治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学 I の該当範囲を復習しておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 変形性頸椎症の治療について学習する | | | |
| 第 5 回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸郭出口症候群についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学 I の該当範囲を復習しておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胸郭出口症候群の治療について学習する | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| 第6回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩関節痛についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肩関節痛の治療について学習する | | |
| 第7回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 上肢末梢神経障害についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上肢末梢神経障害の治療について学習する | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰椎症についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰椎症の治療について学習する | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰椎症についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰椎症の治療について学習する | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 膝OAについての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 膝OAの治療について学習する | | |
| 第11回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肋間神経痛についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肋間神経痛の治療について学習する | | |
| 第12回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 後頭神経痛についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 後頭神経痛の治療について学習する | | |
| 第13回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 顔面神経麻痺についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 顔面神経麻痺の治療について学習する | | |
| 第14回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 三叉神経痛についての治療を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | 鍼灸治療学Ⅰの該当範囲を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 三叉神経痛の治療について学習する | | |
| 第15回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | これまでの学習内容を実践できる | 配布資料 カルテ 鍼灸道具 | これまでの学習内容を復習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合確認、まとめ | | |